

株式会社ベネッセホールディングス
第 58 期定時株主総会 質疑応答要旨

2012 年 6 月 23 日

於：本社 岡山県岡山市北区南方三丁目7番 17 号

当社株主総会における株主の皆様からの主なご質問と、当社からの回答の要旨です。

1. 中期経営計画について

Q: 2016 年度の数値目標、売上高 6,000 億円、営業利益 600 億円は高い伸び率だが、その内訳を教えてください。また、シニア・介護事業の拡大を大きな目標の一つに掲げているが、今後の戦略は？

A: 震災の影響からの回復と共に、将来ビジョンを強力につくりあげ、挑戦していこうということで高い目標数値を掲げました。内訳は公表していませんが、国内教育事業と海外教育事業を成長させる一方で、シニア・介護事業については、毎年、25 ホーム位の開設を継続していく予定で、2016 年度に売上高 1,000 億円規模まで成長させるべく取り組んでおります。

2. 事業内容について

Q: 海外教育事業は会員数が伸びているが、黒字化はいつ頃か？

A: 大きく成長を続けている中国事業は、現在約 50 万人にまで会員数が伸びており、黒字が出せる基礎はできています。将来の 100 万、150 万会員に向けて、前期は広州拠点の設立、コールセンターの増設等、将来の成長に向けて投資を行いました。次年度以降は利益を創出しながら海外教育事業の核にしていきます。一方、インドネシア、米国、ブラジル等の研究・調査は続けますので、海外教育事業全体では、2～3年後の黒字化を目指していきたいと思っております。

Q: ベルリッツののれんが多く計上されているが、いつ頃まで続くのか？

A: ベルリッツの買収に伴うのれん償却は、一部を除き殆どが今年度いっぱい終了予定です。

Q: 未就学児向けの支援、サービスについて、どのようなものを行っていくのか？

A: こどもちゃれんじ(幼児向け講座)事業で、保護者の様々なニーズにしっかりとお応えしていきたいと思っております。また、子どもたちの可能性を広げて行くようなサービスを提供する等、事業に関連した周辺サービス等も考えていきたいと思っております。

Q: 通信教育では、スマートフォンの活用について考えているのか？

A: 急速な普及で利用者が増えており、スマートフォンの活用は非常に重要だと認識しています。こどもちゃれんじ事業の保護者の方向けのサービスや、高校生を対象にセンター試験向けのアプリケーションの提供等を既に始めており、今後はスマートフォン以外のものを含めたデジタル化への対応を進める検討もしております。

3. その他企業活動全般について

Q: 環境問題に関して、電気自動車の開発・普及を支援しているようだがどのようなことか？

A: 会長の福武が、慶応義塾大学の清水教授の開発した電気自動車の技術は大変画期的で、環境問題を解決する一つのツールであると考えており、当社としてもこの開発・普及を行う株式会社 SIM-Drive という会社のビジョンに共感して出資をしております。また、同じく福武が会長を務めている電気自動車普及協議会にも支援をしております。

Q: 直島の株主優待(ベネッセハウス宿泊割引券)について、無料の招待券にしたらどうか？

また、直島で一般の方も参加できる公募展を開催してはどうか？

A: 貴重なご意見として参考にはさせていただきますが、現行の 30%の割引は、他の優待に比しても金銭的価値は高いと存じますので、ぜひ一度お試しいただきたいと存じます。来年は第二回の「瀬戸内国際芸術祭」を春夏秋と開催する予定です。優待券のご利用もいただきながら、ぜひお越しいただければと存じます。

Q: 直島の事業はどの事業セグメントに含まれるのか？次々と建てている建築物の資金はどうしているのか？

A: 直島の事業は、美術館の運営等を行う公益財団法人直島福武美術館財団と、ホテル事業を営んでおります当社グループが行っております。ブランド価値向上の観点からも大変重要な経営資源ですが、当社グループ全体の売上に対して大変小さいため、事業セグメントとしての分類はしておりません。また、会長の福武が考える新しい資本主義の在り方として、同財団は当社の株式を保有しており、運営資金は主に配当収入によって賄われております。

Q: 地域貢献活動として、スポーツ関連のスポンサー支援もしているが、多くの企業の一社としてではなく、もう少し力を入れてはどうか？

A: スポーツ振興を含む地域貢献は、重視しております。地域貢献活動については、当社としての独自性を大切に、教育・文化・芸術等の活動を中心に考えて参りたいと思っております。

Q: 岡山県内の廃校になった小学校の再生等は考えられないか？

A: 社内で社会貢献の提案活動をする、放課後学校や過疎地域での学習のサポート等、様々な意見が出てきます。これを株式会社として実行するのは困難なため、NPO法人に寄付をしたり、教材を提供する等の方法でサポートしております。また、岡山県では、公益財団法人福武教育文化振興財団が教育研究や文化活動の助成を行っておりますので、そこにご応募いただくということも可能です。

Q: 社外役員に関する選定基準を教えてください。また、社外役員に問題はないのか。

A: 取締役会・監査役会が私共の論理だけで回っていくことがないよう、広い見識とこれまでの様々な経歴、実績をお持ちの方を選定しております。社外役員からは大変忌憚のない有益なご意見を頂戴しております。株主の皆様は胸を張ってご紹介できる方ばかりだと思っております。

以上

本資料は投資家の皆様への情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。また、内容については投資家の皆様の関心が高い事項を要旨として掲載するとともに、個人のプライバシー及び係争中の事案に関わる事項の削除、掲載順の変更等を行っており、株主総会議事録とは異なります。記載事項は、総会開催時点での当社の見解であり、リスクや不確実性を含んでいるため、今後、予告なしに変更されることがあります。

なお、本資料に記載されているあらゆる事項に関する欠落・誤謬等につきましては、その責を負いかねますのでご了承ください。従いまして、本資料に依拠して投資判断を下されることはお控えいただけますようお願いいたします。